

# 働く障害者最多43万人

## 厚労省 企業の理解広まる

企業で働く障害者が今年6月時点で計43万1226人と前年を5.4%上回り、11年連続で過去最多を更新したことが26日、厚生労働省の調査で分かった。

同省は「企業の理解が広まって採用が増え、障害者の就労意欲も高まっているため」と分析している。

調査は毎年、従業員50人以上の企業を対象に実施。従業員に占める障害者の割合を示す雇用率は1.82%で前年より0.06%増加したが、法定雇用率の2%には届かなかった。

障害別の内訳は、身体31万3315人（前年比3.1%増）、知的9万2031人（同8.8%増）、精神2万7708人（同24.7%増）。精神障害者は2018年4月から雇用が義務化されるため、大幅増につながったとみられる。

東京・丸の内にある損保会社・東京海上グループの「東京海上ビジネスサポート」。障害者の雇用の場として10年1月に設立され、従業員254人のうち障害者は102人。グループ各社から印刷や配送を請け負い、営業収益は黒字だという。

中小企業でも精神障害者を積極的に採用する会社も

ある。大阪市中央区のソフトウェア会社「奥進システム」は全社員7人中5人が障害者で、うち精神障害者は2人。実習に半年間かけた上で採用し、仕事が集中しないよう配慮、繁忙期でも1日2回の休憩を必ず取るようにしているという。

従業員の精神状態をグラフ化して分析し、職場環境の改善につなげるソフトを開発するなど、同社は「障害者の能力に合った企業とマッチングするサービスも広がっている。国の援助を受けて障害者の就労支援を行う会社「LITALICO（リタリコ）」（東京）では昨年度、利用者の約7割の854人が就職。同省によると、こうした施設は全国に約2800か所あり、増加傾向という。

障害者の能力に合った企業とマッチングするサービスも広がっている。国の援助を受けて障害者の就労支援を行う会社「LITALICO（リタリコ）」（東京）では昨年度、利用者の約7割の854人が就職。同省によると、こうした施設は全国に約2800か所あり、増加傾向という。

業とマッチングするサービスも広がっている。国の援助を受けて障害者の就労支援を行う会社「LITALICO（リタリコ）」（東京）では昨年度、利用者の約7割の854人が就職。同省によると、こうした施設は全国に約2800か所あり、増加傾向という。